

令和5年度 指定管理業務 実績評価シート

基本様式

作成年月日

2024年9月18日

部課名 観光部文化振興課

施設名	弘前れんが倉庫美術館及び土淵川吉野町緑地
施設の設置目的	JR弘前駅と弘前公園の間に位置し、中心市街地に隣接する吉野町周辺に当該施設を設置し、文化芸術活動の推進及び中心市街地の賑わいを創出するもの
所在地	弘前市大字吉野町2-1,2-7
指定管理者名	弘前芸術創造株式会社
指定期間	令和2年4月1日～令和17年3月31日
1 事業計画の実施状況	<p>PFI事業契約書、要求水準書及び令和5年度運営・維持管理業務年間計画書に基づき、概ね計画通りに実施されている。</p>
2 自主事業の実施状況	<p>今年度は、自主事業を3件実施しており、市内大学生の観覧料を無料とする「学生鑑賞支援プロジェクト」を年間通して実施した。秋冬プログラムでは、対象を市内の大学生から専門学校まで広げ、弘前大学への寄附講義では、作家・松山智一氏から直接話を聞く機会を設けた。このように大学・専門学校に対する鑑賞支援を実施し、現代美術への関心が高まるよう鑑賞機会を提供した。また「H-MOCAガイドツアー」では、団体向けにプライベートツアーを実施するガイドプログラムを作成し、来館者増に努めている。</p>
3 市民サービス向上のための取組状況	<p>館内表示を見直すとともに、一部バイリンガル化を行いアクセスIBILITYの向上に努めた。また、ラーニング・プログラムとして鑑賞支援ツールの作成・活用、演劇や造形ワークショップなどを実施することで、幅広い年齢層にアートを楽しむ機会を提供した。さらにアートだけでなく、ジェンダー等の社会問題を考える場を提供し、社会教育施設としての取組を行った。</p>
4 市民ニーズの把握の実施状況	<p>展覧会観覧者向けのアンケートをiPadにより実施し、春夏プログラムでは2,853件、秋冬プログラムでは1,591件の回答を得た。展覧会出口にiPadを設置したり、回答者の中から次回展覧会の招待券を抽選でプレゼントする特典をつけたりすることで、回答率の向上に努めている。一方で、アンケートの収集方法をiPadだけでなく、普段iPadを使用しない人も回答できるよう回答方法を工夫し、さらなる市民ニーズの把握に努めていただく。</p>
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	<p>展覧会観覧者数は36,749人と目標であった約58,000人には届かなかったが、貸館業務については778件と昨年度の推移を維持しており、さらに学校団体受入数が34校となり昨年度から12校上回る結果となった。</p>
6 指定管理業務の収支状況	<p>令和4年度からこれまでの来館者実績を踏まえた年間収入を算出し、それに見合った指定管理業務を実施することとしているが、令和5年度の収支実績は赤字であった。来年度以降は収支均衡に努めていただく。</p>

7 実地調査の結果

月次報告や年間報告等について、内容の改善を要する項目が散見されるほか、設備等の不具合について、対応に時間を要する場合があるが、当該施設の運営・維持管理業務は概ね適正に実施されている。

8 成果指標の達成度

当該施設の運営・維持管理業務は要求水準どおりに実施されている。

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	契約書、要求水準書等に基づき、指定事業の実施、法令等の遵守、適切な職員配置をし、施設運営を行った。	展覧会やイベント、様々な取組を事前事後ともに広く周知していく。業務報告を適切に実施する。
施設の管理	B	設備点検や定期衛生作業を実施し施設は良好に保たれている。また常駐警備業務を実施し利用者の安全を保っている。	空調設備の劣化や水漏れ事象が散見されるため、定期的に適切に対応する必要がある。
経理の状況	B	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況については適正に実施されている。	適正に管理されていると判断される。
団体の財務状況	B	概ね事業計画書通りに実施されており、SPCは安定して運営されている。	特に問題は見られない。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	PFI事業契約等に基づき、概ね適切に実施するとともに、アートだけでなく幅広いジャンルのイベント等を実施し、施設の周知に努めている。	業務報告書等の提出遅れなどの改善に努めていただくほか、展覧内容の充実や魅力あるイベントを企画し、来館者数の増加に努めていただく。
施設の管理	B	PFI事業契約等に基づき、概ね適切に実施するとともに、施設の不具合状況の早期発見に努めている。	翌年度に継続する不具合が散見されるため、速やかに対応するよう努めていただく。
経理の状況	C	令和5年度の収支実績は赤字であったが、支出面では物価高騰等の影響を受けながら支出の抑制に努めている。	来館者実績を踏まえた、収支管理に努めていただく。
団体の財務状況	B	概ね事業計画書どおりに実施されており安定している。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する